

平成 22 年度活動報告

■主な取り組み

平成 22 年度は、例年同様 4 つの主要事業、①保全活動、②資源増殖、③エコツアーリズム推進、④海垣の活用を中心に取り組みました。

しかし、赤土流出危険農地の借り上げによるグリーンベルトの設置と地域への感謝を込めた無料シュノーケルツアーは着手できませんでした。

①保全活動

・グリーンベルト植栽：7 圃場

宮良松三 300 本	白保～鹿島ふるさとの海子供交流会
宇田川定子×2 1,300 本	駒澤大学研修、サンゴウィーク
大島淑 800 本	シルバーへの委託
米盛充紀 850 本	白保中学校汗知恵タイム
大泊力朗 50 本	しらほこどもクラブ
大山常雄 350 本	しらほこどもクラブによる植え付け

・イトバショウ植栽：3 圃場

多字久美子 80 本	明治学院大学経済学部 服部研究室
美里清矩 150 本	神奈川大学附属高等学校 1 年生
豊里友伸 400 本	東京農業大学

・海浜清掃：3 回

②資源増殖（ギーラの放流）

ヒメジャコ (1,000 個)
シラナミ (1,100 個)

③エコツアーリズムの推進（ツアー、修学旅行、クラブメッド受入など）

WWF 会員ツアー
白保～鹿島ふるさとの海子供交流会
大阪府立なみはや高校など
クラブメッドかびら白保ツアー (3 回)

④海垣の活用（世界海垣サミット開催）、

サニズ体験漁
小浜島視察
世界海垣サミット in 白保開催

<具体的な内容>

1. ギーラの放流とモニタリングの実施

昨年度、白保サンゴ礁の資源回復を図るためにはじめたギーラ（シャコガイ）の放流。ギーラ（シャコガイ）の生存状況と成長を確認するためモニタリング調査を実施した。その結果、約40%の生存率であり、放流時1cm程度であったものが、3cmになっていることが確認された。また、本年度もヒメジャコ900個、シラナミ1200個の放流を行うこととし、まず、1,000個の放流を実施した。あわせて白保中学校による放流も行った。さらに、今年は、沖縄県海洋水産研究センターと協働で、シャコガイの観光利用の可能性を検討するためにヒレジャコ、ヒレナシジャコの大型個体を6個観光ポイントに設置し、アンケート調査により観光利用の可能性を検討することとした。これら6個体は、産卵が可能な個体であり、資源増殖につながることも期待される。



2. 海垣の保全と活用（サニズの体験漁の実施）

海と密接な暮らしを持った白保集落、その半農・半漁の集落の文化遺産「海垣」。2006年に地域を挙げて復元した“白保竿原の垣”の保全と活用を進めて来た。毎年恒例のサニズでの体験漁の実施の他、世界サミットを前に、海垣の修復作業などを実施した。



3. ふるさとの海子ども交流会 in 白保による各種体験事業の受け入れ

第五回目を迎えた WWF 白保～鹿島ふるさとの海子ども交流会の白保での受け入れを行った。7月17日～20日（佐賀県鹿島市の小学生10名の白保での受け入れ）に実施した。白保魚湧く海保全協議会では、「シュノーケル教室・観察会」、「ギーラ放流体験」、「月桃植え体験」などのエコツアーを実施した。また、白保日曜市運営組合メンバーによる草木染体験（バンダナの染色体験）、サーターアンダギー作り（郷土のお菓子作り）体験などのグリーンツーリズム体験も行っている。これらのモデル事業の結果は、白保での体験型観光の受け入れの魅力が高いことが分かりました。NPO法人設立後の収益時半としても期待されます。

<白保交流会>



3. ウミガメ観察会の実施

白保には、アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの3種類の絶滅危惧種に指定されているウミガメが上陸産卵する。ウミガメの産卵場所の保全を積極的に進めるために WWF と協力し、海浜環境の維持・改善を呼びかける活動を実施しました。今後、産卵状況調査チームを白保内で結成するなど、地域を挙げた保全活動の推進が求められる。



※しらほサンゴ村がボランティアと協力し産卵状況調査を実施してきました。今後、協議会など白保地域主体の調査の実施が望まれています。

4. グリーンベルト植栽（月桃植え、イトバショウ植え）

ふるさとの海こども交流会の中で、50m300本の月桃植えを実施した。また、9月には、明治学院大学のゼミ旅行の協力を得てイトバショウ 100m80本を植栽した。



また、今年度は、石垣島に研修や修学旅行で訪れる大学や高校などの体験メニューとしてグリーンベルト植栽を実施した。サンゴ礁保全の促進だけではなく、観光受入などのツーリズムと融合させることにより、地域の活性化と自立的な取り組みにつなげていくことを目標としている。

駒澤大学 80m500本の月桃植え、神奈川大学附属高校 80m150本のイトバショウ、東京農業大学 200m400本のイトバショウの植栽に取り組んだ。



3月5日には、石垣島サンゴウィークに協力し、130m800本の月桃植え、3月19日には、白保中学校の汗・知恵タイムとして140m、850本の月桃植えを実施した。



沖縄県八重山農林水産振興センターとの協議により、白保集落の冠水対策としてウナタ地区などの総合的な水質対策事業の導入が課題となっている。

5. 世界海垣サミット in 白保の開催

2010年10月30日～11月1日、世界7カ国・12地域が石垣島白保に集まり、沿岸域の利用と保全について話し合う「世界海垣（インカチ）サミット in 白保」を開催した。サミットでは、参加地域での「海垣」の保全・利活用の現状と課題を報告するとともに、「地域の海は、地域で守ろう！」をスローガンに、伝統的な人と海との関わりを受け継ぎ、沿岸域の暮らしと豊かな自然環境を維持する“世界海垣サミット SATOUMI 共同宣言”を取りまとめた。



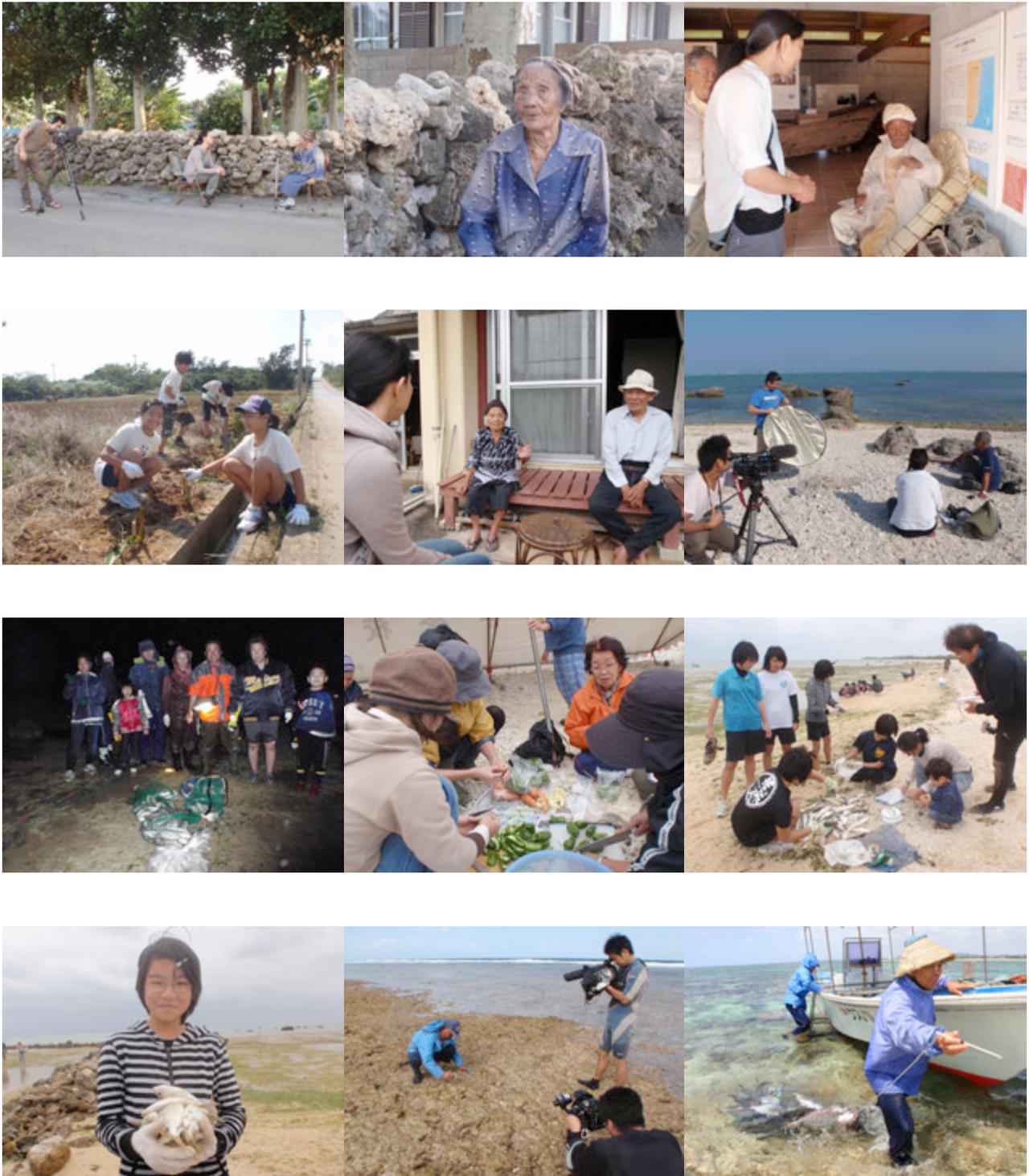
6. 修学旅行等の受入等の推進

白保地域のサンゴ礁保全や村づくりを支える収益事業として、体験型観光のプログラム開発及び体制づくりを進めた。修学旅行生を対象としたレクチャーや郷土料理づくり体験、集落散策などを行った。今後、継続した受入の確保とコーディネート業務を行う白保 NPO の設立を進めていくこととしている。



7. 白保の情報発信

白保でのサンゴ礁保全に資する持続的な地域づくりに関するヒアリングや発表、原稿執筆の機会を多数得た。特に、2011年4月2日～7日まで国連大学金沢オペレーションユニットが製作する里海をテーマとするドキュメンタリーフィルム撮影隊が白保に滞在し、撮影を行った。同ドキュメンタリーは、国際会議での上映や国連大学HPなどで世界に配信されることとなっている。(日本の6箇所の海と人とのつながりの深い地域の一つとして、本協議会の活動などが評価され、白保集落が選ばれた。)



白保魚湧く海保全協議会

<主要な活動日程>

<4月>

- 4月9日 白保魚湧く海保全協議会理事会
4月10日～15日 白保海岸林の植樹準備と植樹
4月11日 ギーラ（シャコガイ）モニタリング調査
4月16日 白保魚湧く海保全協議会 サニズ海垣漁
4月24日 ギーラ放流（大型個体：ヒレジャコ、ヒレナシジャコ）
4月29日 ギーラ放流（白保中学校）

<5月>

- 5月9日 白保魚湧く海保全協議会会計監査、NPO法人設立について協議
5月11日 白保魚湧く海保全協議会理事会
5月14日、15日 ギーラ放流
5月17日 沖縄県農林水産整備課、白保公民館との赤土流出防止対策協議
5月18日 白保魚湧く海保全協議会総会

<6月>

- 6月13日 海浜清掃
6月20日 ギーラ網はずし
※ギーラ放流時に、稚貝を魚の食害から守るためにつけた網を1ヵ月後にはずす作業。
6月25日 白保中ギーラ網はずし
6月29日 白保中ギーラまとめ学習

<7月>

- 7月6日 白保中学校シュノーケル
7月10日 白保魚湧く海保全協議会理事会
7月11日 ギーラ放流
7月17日～20日 白保～鹿島ふるさとの海子供交流会 白保交流会
・ウミカメ観察会
・エコツーリズム体制の確立
・グリーンツーリズム体制の確立
・赤土流出防止対策の実施など

<8月>

- 8月14日 白保魚湧く海保全協議会だより発行
8月31日 サンゴ礁学成果報告会

<9月>

- 9月5日 こどもクラブ・ウミガメ観察会
9月8日～9日 白保魚湧く海保全協議会 小浜島スマンダー垣視察
9月22日 農と緑の風景づくり イトバシヨウの植栽
9月26日 大人のシュノーケル

<10月>

- 10月5日 白保魚湧く海保全協議会理事会
10月7日 大阪府立門真高校修学旅行受入（白保魚湧く海保全協議会）
10月8日～9日 白保竿原の垣 石積み修復作業
10月19日 グリーンベルト植栽月桃植え（駒澤大学）
10月25日 白保魚湧く海保全協議会理事会
10月29日 サミット参加者とともに石垣市長を表敬訪問

白保魚湧く海保全協議会

10月30日	世界海垣サミット in 白保 参加国会議
10月31日	世界海垣サミット in 白保 シンポジウム
<11月>	
11月1日	世界海垣サミット in 白保 白保竿原の垣漁体験、竹富島エクスカーシ ョン
11月23日	グリーンベルト植栽月桃植え
<12月>	
12月13日	沖縄県水産海洋研究センター川平支所訪問・協議
12月13日	神奈川県立栄高等学校修学旅行受入（白保魚湧く海保全協議会）
12月14日	白保魚湧く海保全協議会理事会
12月16日	農と緑の風景づくり 神奈川大学附属高等学校 イトバシヨウ植え
12月17日	農と緑の風景づくり 東京農業大学 イトバシヨウ植え
12月18日	第七回白保学講座 ギーラの放流とその活用について
12月19日	海浜清掃 白保魚湧く海保全協議会
12月28日	白保魚湧く海保全協議会 石垣島サンサンラジオ出演
<1月>	
1月14日	きんき環境館ヒアリング受入（中間支援機関としての役割について）
1月18日	国際連合大学金沢オペレーションユニットあん・まくどなるど所長ヒ アリング受入
1月25日	「水産振興」財団法人東京水産振興会投稿（活動紹介）
1月30日	クラブメッドツアー受入（白保魚湧く海保全協議会） 文部科学省新学術領域「サンゴ礁学」ヒアリング受入
<2月>	
2月20日	第6回 白保ゆらていく祭り（展示参加）
2月25日	環境省近畿地方環境局、きんきパートナーシッププラザヒアリング受 入
<3月>	
3月4日	高知工科大学ヒアリング受入
3月5日	グリーンベルト大作戦・月桃植え実施（しらほこどもクラブ・石垣島 サンゴウィーク）
3月9日	白保魚湧く海保全協議会理事会
3月14日	内閣海洋政策本部ヒアリング受入
3月19日	グリーンベルト大作戦・月桃植え（白保中学校）
3月21日	徳島大学ヒアリング受入
3月28日	白保魚湧く海保全協議会理事会
3月29日	長崎県五島市市議議員研修受入
<4月>	
4月2日～7日	国連大学ドキュメンタリー撮影受け入れ
4月2日	海垣修復作業
4月3日	汗知恵タイムによる月桃植え
4月5日	サニズ（浜下り）の海垣漁 電灯もぐり撮影
4月6日	まき網漁撮影